

日语能力分级

模拟试题集

下

张维红 王继龙 编
马世伦 刘文阁

黑龙江科学技术出版社

MONISHITJI

日语能力分级模拟试题集

(下)

张维红 王继龙 编
马世伦 刘文阁

黑龙江科学技术出版社

(黑) 新登字第 2 号

责任编辑 李 南

封面设计 刘连生

日语能力分级模拟试题集 (下)

张维红 王继龙 马世伦 刘文阁 编

黑龙江科学技术出版社出版

(哈尔滨市南岗区建设街 41 号)

哈尔滨工业大学印刷厂印刷

787×1092 毫米 32 开本 6.625 印张 2 插页 135 千字

1993 年 12 月第 1 版·1993 年 4 月第 1 次印刷

印数: 1—3000 册 定价: 5.90 元

ISBN 7-5388-2214-3/H·46

目 錄

IV級 (一)	(1)
IV級 (二)	(16)
IV級 (三)	(35)
IV級 (四)	(52)
IV級 (五)	(68)
IV級 (六)	(86)
IV級 (七)	(103)
IV級 (八)	(121)
IV級 (九)	(139)
IV級 (十)	(156)
解答	(174)
附錄	
1992 年大學日語四級測試樣題及解答	
.....	(186)

Ⅳ級（一）

文字、語い

問題Ⅰ 次の文の下線をひいた漢字（漢字とかな）の読み方を、それぞれの（１）・（２）・（３）・（４）の中から一つ選びなさい。（１×１０）

問１ 彼は親類_１の披露宴_２の余興の練習があるとかで定刻_３に会社を引き揚げて_４行った。

１. 親類

- （１）おやるい （２）しんるい
（３）しんせき （４）おやたぐい

２. 披露宴

- （１）ひろうえん （２）びろうえん
（３）ひろえん （４）ひれいえん

３. 定刻

- （１）さだめこく （２）てこく
（３）ていこうく （４）ていこく

４. 引き揚げて

- （１）ひきとげて （２）ひきさげて
（３）ひきあげて （４）ひきだして

問2 近年、画一的⁵な教育に対する反省⁶から、より個性を尊
重⁷するような教育が求められつつある。その方策を探る⁸た
め、今、様々な⁹ 試み¹⁰が行われている。

5. 画一的

- (1) がいちてき (2) かくいちてき
(3) かくいつてき (4) かんいつてき

6. 反省

- (1) はんせい (2) はんしょう
(3) はんじょう (4) はんぜい

7. 尊重

- (1) そんじゅう (2) そんちょう
(3) そっちゅう (4) そんじょう

8. 探る

- (1) たどる (2) くぐる
(3) うつる (4) さぐる

9. 様々な

- (1) ようような (2) きまざまな
(3) いろいろな (4) さんざんな

10. 試み

- (1) あゆみ (2) いとなみ
(3) たのみ (4) ころみ

問題Ⅱ 次の文の下線の部分の漢字（漢字とかな）を、そ
れぞれの(1)・(2)・(3)・(4)の中から一つ選びなさい。
(1×10)

我が国の食料のじきゅう¹率はねんねん²てい³かし、輸入に

たよる食料のわりあい⁴はますますふえて⁵きています。たと
えばこくるい⁶にしても、約70%は輸入にたよっており、き
んねん⁷ せっしゅ⁸量がふえているちくさん⁹物でもその生
産に必要なしりょう¹⁰の約70%を輸入にたよっている。

1. じきゅう

- (1) 持久 (2) 時給
(3) 自給 (4) 自及

2. ねんねん

- (1) 季々 (2) 念々
(3) 寧々 (4) 年々

3. ていか

- (1) 定価 (2) 低下
(3) 定化 (4) 低価

4. わりあい

- (1) 分合 (2) 割愛
(3) 割合 (4) 判合

5. ふえて

- (1) 増えて (2) 更えて
(3) 殖えて (4) 肥えて

6. こくるい

- (1) 穀類 (2) 国類
(3) 糠類 (4) 蕪類

7. きんねん

- (1) 今年 (2) 近年
(3) 均年 (4) 僅年

8. せっしゅ

(1) 節酒 (2) 接種

(3) 節取 (4) 摂取

9. ちくさん

(1) 蕃蚕 (2) 筑産

(3) 竹産 (4) 畜産

10. しりょう

(1) 史料 (2) 試料

(3) 飼料 (4) 資料

問題Ⅲ 次の文の____の部分に入れるのにもっとも適当なものを、それぞれ (1)・(2)・(3)・(4) の中から一つ選びなさい。(1×15)

1. じゃまになりますから、すみませんが、ちょっとその荷物を____ください。

(1) さけて (2) はらって

(3) どけて (4) さげて

2. 来月、パリ支店に____することになりました。

(1) 転居 (2) 転勤

(3) 転職 (4) 転入

3. 花子はまわりの人に対して____のある優しい子だ

(1) 思いつき (2) 思いきり

(3) 思いやり (4) 思いどおり

4. お土産に____黄色のシャツを買った。

(1) 弱い (2) 重い

(3) うすい (4) 熱い

5. 代表者2人の会談は、冗談もまじえながら____雰囲気のうちに行われた。

(1) なごやかな (2) やわらかな

(3) ゆたかな (4) あざやかな

6. ____ 皆そろったのだから、記念に写真を撮りましょう。

(1) さっそく (2) ぜひ

(3) めったに (4) せっかく

7. 赤ちゃんがお母さんの腕の中で、____と寝ています。

(1) すくすく (2) うろうろ

(3) すやすや (4) しずしず

8. 山田さんは話がうまいから、よく結婚式の____を頼まれるらしい。

(1) トーク (2) レポート

(3) テーマ (4) スピーチ

9. 山の上には古い家が____あるだけです

(1) いちだい (2) ひとつ

(3) いっけん (4) いっそう

10. 昨日は一日中歩いたので、足が____になってしまった。

(1) 棒 (2) 竹

(3) 板 (4) 石

11. ____してためたおかねでりょこうしました。

(1) アルバイト (2) アパート

(3) インテリ (4) カーテン

12. ひとりで____をきくのが好きです。

(1) ビデオ (2) ボールペン

(3) ミルク (4) レコード

13. すみませんが、____をおしていただけませんか

(1) カメラ (2) バター

(3) シャッター (4) クリーム

14. わたしはおさけによわいのでいつも____をのみます。

- (1) アルコール (2) パン
(3) ジュース (4) スポーツ

15. こうちやに____をいれますか。

- (1) チョコレート (2) ガソリン
(3) ノート (4) レモン

問題Ⅳ 意味の説明を読みなさい。その説明に最も近いものをそれぞれの (1)・(2)・(3)・(4) の中から一つえらびなさい。(1×5)

1. 時間どおりに起きず、おそくまで寝てしまうこと

- (1) おそ寝 (2) 早寝
(3) 寝坊 (4) 眠坊

2. 山の下の部分

- (1) いただき (2) ちゅうふく
(3) ふもと (4) あしもと

3. ざっと見る

- (1) 目をつける (2) 顔を向ける
(3) 目を通す (4) のぞき見る

4. 焼けて黒くなったときの強いにおい

- (1) やけ臭い (2) もえ臭い
(3) こげ臭い (4) やき臭い

5. 試験などで適当に出そうなところを考え、そこだけを勉強する

- (1) 暇をかける (2) 山をかける
(3) かんをかける (4) 頭をかける

文 法

次の____のところにどんなことばをいれたらよいですか。いちばんいいものを(1)・(2)・(3)・(4)から一つえらびなさい。(1×30)

1. 君が読んでみて____ほくも読んでみよう。
(1) 面白いと (2) 面白ければ
(3) 面白いなら (4) 面白かったら
2. テレビゲームを____先に宿題をやってしまいなさい。
(1) やりたかったら (2) やりたければ
(3) やりたいと (4) やるなら
3. もし、友達というものが____どんなにさびしいことだろう。
(1) なければ (2) ないと
(3) ないなら (4) なかったら
4. 日本は外国との貿易____生きていけない国である
(1) なしには (2) しないには
(3) しないから (4) しないからといって
5. その本は、見付け____焼くようにとの法律が出ている。
(1) るなら (2) てから
(3) しだい (4) ながら
6. 彼のあの様子____試験に失敗したらしい。
(1) を見てから (2) によって
(3) からみると (4) を見ると
7. あの人は手伝わないと怒るが、手伝えば____文句を言う

(1) 手伝ったで (2) 手伝うので

(3) 手伝ったら (4) 手伝うから

8. ほんとうはほしい____, ほしくないなんて言っている

(1) ものの (2) なのに

(3) はずで (4) くせに

9. あすは雪が降るでしょう。____雨になるかも知れませんが。

(1) つまり (2) そして

(3) あるいは (4) それでも

10. 写真をとる時はカメラをしっかり持ちます。____静かにシャッターを押します。

(1) だから (2) すると

(3) さらに (4) そして

11. 皆さん、拍手____二人をお迎えください。

(1) をもって (2) がもって

(3) にもって (4) でもって

12. 昨日のスピーチは我____感心する部分があった。

(1) しつつ (2) つつ

(3) しながら (4) ながら

13. 子供____おとなみたいな話し方をする。

(1) のくせに (2) だから

(3) のために (4) だったら

14. 明日は臨時休校____3年男子は全員10時までに登校すること。

(1) ところか (2) ただし

(3) それに (4) さらに

15. 3月になった____少しも春らしくならない。

(1) のに (2) ので

(3) なら (4) うえで

16. 口から息を吸う____のどがいたくなることもあります。

(1) から (2) ので

(3) のに (4) けれども

17. これは____だれも買いません

(1) 安いのが (2) 安いのは

(3) 安いのか (4) 安いのに

18. 中山さんにあしたうちへ____言ってください。

(1) 来るように (2) 来ようと

(3) 来たと (4) 来れば

19. きょうは天気____せんたくをしようと思っています。

(1) がいいと (2) がいいので

(3) はよくて (4) はいいから

20. いくら____給料は同じです。

(1) 働いたら (2) 働いたのに

(3) 働くと (4) 働いても

21. 時間____。宿題ができませんでした。

(1) がなかったので (2) がなくては

(3) がなかったのは (4) がないのに

22. よく勉強____試験はかんたんでした。

(1) したのに (2) すると

(3) したから (4) するのに

23. 朝早く____きつぷは買えませんでした。

(1) 行くのに (2) 行ったのに

(3) 行くので (4) 行ったとき

24. ____これは何を意味するか。

- (1) そもそも (2) そういったら
- (3) それぞれ (4) あれこれ

25. この間はお手紙をありがとうございました。____きのうはお電話をくださりまことにありがとうございました。

- (1) また (2) または
- (3) あるいは (4) では

26. おおぜいの人々をすくった彼は____日本のキリストです。

- (1) いえば (2) いったら
- (3) いうなら (4) いわば

27. 自転車____自動車の通行を禁止します。

- (1) そして (2) それに
- (3) および (4) それから

28. 駅前まで行った____週刊誌を一冊買ってきてください。

- (1) つぎに (2) ついでに
- (3) ついでに (4) つぎは

29. 「今日は隣のうちは、子供づれででかけているのよ。」

「ああ____静かなんだね。」

- (1) すると (2) それで
- (3) そこで (4) そして

30. きょうは日曜日で____天気もよかったので、どこも人がおおぜいいた。

- (1) そのうち (2) そのうえ
- (3) それだけ (4) それでは

読 解

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、(1)・(2)・(3)・(4) から最も適当なものを一つ選びなさい。(2×7)

子供のころ、わたしは、母や近所のおばさんたちが、「うちの子はまだごあいさつできませんで……。」などと言っているのを聞いて、どうしてあんなことを気にするのだろうと、不思議に思っていた。大きくなってからも、大人の^①人たちが、「あの人のあいさつはりっぱだ。」とか、「あの人のあいさつのしかたも知らない。」とか言っているのを聞くと、たいした意味もないことを、^②どうしてそんなに問題にするのだろうと、おかしく感じていた。天気がいいとか悪いとかいうような、わかりきったことを言い合うよりも、おたがいに誠意を持っていることこそだいじなのではないか、誠意はだまっていっても通じるはずだ、と決めこんでいた。

わたしはその後、学校を出て、ある中学校の教師になった。その学校へ行ってみてまずおどろいたことは、先生も生徒も、朝、顔を合わせると、「おはようございます。」帰るときは、「さようなら。」と、必ず声に出してあいさつしていることだった。

それまで^③わたしは、知っている人に会うとだまって頭を下げ、親しい友人には「やあ。」と言うか、会釈をする

ぐらいのものだった。が、生徒や同僚たちが明るくあいさつし合っているところを見ると、いつの間にか、こういうあいさつをするのも意味のあることだと感じられてきた。(a)、ほかの人たちと同じように、「おはよう」や「さようなら」を声に出して言おうとしてみると、それはなかなか容易なことではない。かんたんな言葉だと思っていた「おはよう」や「さようなら」が、かんたんに言えない。④だいいち、容易に声が出ない。思いきって言ってみても、なんというあやふやな「おはよう」であろう。それに比べて、同僚や生徒の「おはよう」は実にはっきりして気持ちがいい。わたしは、なるほど「おはよう」にも、りっぱなのとそうでないのがあると、はじめて気がついた。

きまりの悪い思いをしながら毎日努力して言っている⑤うちに、だんだん、わたしにもはっきり言えるようになってきた。それといっしょに、声に出して言うほんとうに明るいあいさつは、決して口先だけでできるものではない。心の真実が、そのまま身の構えになり、声になったものこそほんとうのあいさつである、ということがわかってきた。

問1 ①だれが「大きくなってからも」なのか。

- (1) 近所の子
- (2) 近所のおばさん
- (3) 筆者
- (4) 大人の人たち

問2 ②何が「たいした意味もないこと」なのか。

- (1) 子供はまだあいさつができないこと

- (2) あいさつのしかた
- (3) 天気
- (4) お互いに誠意を持っていること

問3 ③ 「それまで」というのはいつまでのことか。

- (1) 中学校の教師になるまで
- (2) 大人になるまで
- (3) 朝、先生や生徒と顔を合わせるまで
- (4) 声に出してあいさつするまで

問4 (a) の中に入ることばとして、どれが最も適当か。

- (1) つまり
- (2) ところで
- (3) しかし
- (4) したがって

問5 ④ 「かんたんに言えない」とあるがどうしてか。

- (1) むずかしいことばだから。
- (2) 今まであいさつをしたことがないから。
- (3) あいさつは必要ないから。
- (4) 声に出すあいさつは意味がないと思っていたから。

問6 ⑤ 「きまりの悪い思いをしながら」とあるが、どんな意味か。

- (1) 気持ちが悪いと思いながら
- (2) はずかしいと思いながら
- (3) 言いたくないと思いながら
- (4) きまった言い方がないと思いながら

問7 結論として筆者は何を言いたいのか。

- (1) 大きな声であいさつすれば必ず心の真実が通じる。
- (2) 誠意があれば明るいあいさつができる。